

看護助手継続教育(キャリア開発プログラム)

	到達目標	レベル別研修	
ステップⅢ 入職後5年以上	<p>確実な介護技術を後輩に指導できる ベテランとしての自覚を持ちリーダーシップが発揮できる 職場の問題点を見出し解決できる 福祉の動向に対する知識を持てる 院内認定のすべて取得</p>	<p>滋賀県社会福祉協議会研修 ステップⅢ研修 事例研究 リーダーシップと課題解決 福祉の理念と人権・動向 リスクマネージメント</p>	
ステップⅡ 入職後2～4年	<p>前期 介護技術が安全に出来る 患者ここにあった介護技術を考えられる 院内認定介護技術を取得()</p> <p>後期 基本的技術を後輩に指導することで、自身の介護技術を客観的に見つめることが出来る 業務の中での課題を見出だせる 院内認定介護技術を取得() 介護福祉士受験を目指す 中堅の介護士として役割を果たせる</p>	<p>滋賀県社会福祉協議会研修 認知症 起居・移乗 人権研修</p>	
ステップⅠ 入職後1年	<p>介護者としての基本的知識と態度を学ぶ ・患者の介護技術 ・介護者としての態度 ・社会人としての態度 ・コミュニケーションの基本 ・健康とストレス</p> <p>* 指導を受けながら介護者としての基本的技術・態度を身につけることが出来る 自身の2年目の課題を考えることが出来る</p>	<p>入職時研修 社会人として 基本介護技術 接遇研修 院内1年目研修 接遇・人権・コミュニケーション</p>	